

## 「棺桶」というパイもあつた中世イギリス風

アップルパイが大好物だった発明王エジソンは「イギリス人に発明の才がないのは、パイをたくさん食べないからだ」といったそうである。が、これはとんでもない誤解で、イギリス人のパイ好きは中世以来の年季もの。少なくとも十四世紀には、ヨーロッパでどこよりも早くパイを発明していたのである。

「新しいごちそうの発見は、人類の幸福にとつて天体の発見以上のものである」といったのは、十八世紀、フランスで美味学を唱道したブリア・サヴァランだが、英国人にいわせれば、パイの発明はエジソンの諸発明にまさるとも劣らぬ人類への贈り物だと胸を張るだろう。

英国のパイのなかでも、とりわけ伝統と豊饒な味覚を誇るのがミートパイ——パイ料理の起源としては、五世紀のころ北ヨーロッパからイングランドにやって来た古代サクソン人が、この島に持ち込んだ料理として「ハギス」と呼ばれる羊の詰め物料理があつた。「ハギス」というのは羊の胃袋に肉と穀類の混ぜ物を詰め、長時間煮込んだソーセージ様のもので、冬の厳しい古代イングランドでは、このハギスは保存食としてもとりわけ貴重なものだった。

